

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
原子力科学研究所  
原子炉施設（JRR-3 原子炉施設）  
使用前検査成績書（その 2-1）

〔核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〕  
〔放射性廃棄物の廃棄施設〕

原子力規制委員会

## 使用前検査成績書

事業者及び事業者名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所		
検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室 燃料管理施設 放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒		
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 JR R-3 原子炉施設		
申請年月日及び申請番号	令和元年6月17日 令01原機(科研)003		
検査項目	検査年月日	結果	摘要
別紙-1のとおり	別紙-1のとおり	良	別紙-1 のとおり
原子力施設検査官	別添-1のとおり		
検査立会責任者 (役職名)	別添-1のとおり		
備考	設主認申請書に記載されている試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則(昭和32年総理府令第83号)第3条の4第5号に基づく試験研究用等原子炉施設の性能検査をもって終了とする。		

令和3年2月3日

全ての設工認申請書に係る工事に対する使用前検査及び使用前事業者検査の終了を確認したため削除  
松本武彦

検査年月日	原子力施設検査官	検査立会責任者 (役職名)
令和2年3月4日	松本武彦 大和田博幸	[Redacted]
令和2年4月8日	原子力検査官 松本武彦 環境技術官 清水俊博	[Redacted]
令和2年10月8日	原子力検査官 大和田博幸 原子力検査官 松本武彦 原子力検査官 久東誠	[Redacted]
令和2年12月16日 17日	原子力検査官 松本武彦 原子力検査官 大和田博幸	[Redacted]
年 月 日		

検査項目	検査年月日	結果	摘要
○核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯槽室（壁、柱、梁の増打ち補強））			
材料検査	令和2年12月17日	良	別紙-2, 3 のとおり
配筋検査	令和2年12月17日	良	別紙-4, 5 のとおり
型枠検査	令和2年12月17日	良	別紙-6, 7 のとおり
外観検査	令和2年12月16/17日	良	別紙-8, 9 のとおり
○核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料管理施設（壁、柱、梁の増打ち補強））			
材料検査	令和2年12月17日	良	別紙-10, 11 のとおり
配筋検査	令和2年12月17日	良	別紙-12, 13 のとおり
型枠検査	令和2年12月17日	良	別紙-14, 15 のとおり
外観検査	令和2年12月16/17日	良	別紙-16, 17 のとおり
○核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯槽室・燃料管理施設の連結補強）			
材料検査	令和2年10月8/12月17日	良	別紙-18, 19 のとおり
配筋検査	令和2年12月17日	良	別紙-20, 21 のとおり
型枠検査	令和2年12月17日	良	別紙-22, 23 のとおり
外観検査	令和2年12月16/17日	良	別紙-24, 25 のとおり
○放射性廃棄物の廃棄施設（排気筒（杭基礎の新設））			
材料検査	令和2年3月4日	良	別紙-26, 27 のとおり

検査項目	検査年月日	結果	摘要
寸法検査	令和2年3月4日	良	別紙-28, 29 のとおり
配筋検査	令和2年3月4日	良	別紙-30, 31 のとおり
外観検査	令和2年3月4日	良	別紙-32, 33 のとおり
○放射性廃棄物の廃棄施設 (排気筒 (基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設))			
材料検査	令和2年4月8日	良	別紙-34, 35 のとおり
配筋検査	令和2年4月8日	良	別紙-36, 37 のとおり
型枠検査	令和2年4月8日	良	別紙-38, 39 のとおり
外観検査	令和2年4月8日	良	別紙-40, 41 のとおり
○放射性廃棄物の廃棄施設 (排気筒 (支持鉄塔の新設))			
材料検査	令和2年10月8日	良	別紙-42, 43 のとおり
寸法検査	令和2年10月8日	良	別紙-44, 45 のとおり
外観検査	令和2年12月16日	良	別紙-46, 47 のとおり
○放射性廃棄物の廃棄施設 (排気筒 (鋼製ダンパーの新設))			
材料検査	令和2年10月8日	良	別紙-48, 49 のとおり
寸法検査	令和2年10月8日	良	別紙-50, 51 のとおり
外観検査	令和2年12月16日	良	別紙-52, 53 のとおり

○核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯槽室、燃料管理施設）、放射性廃棄物の廃棄施設（排気筒）			
設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査	令和 2 年 12 月 17 日	良	別紙-54, 55 のとおり
品質管理の方法等に関する検査	令和 2 年 3 月 4 日 12 月 16 日	良	別紙-56, 57 のとおり

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室（壁、柱、梁の増打ち補強）		
	確認事項	確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良	
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良	
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p>			

## 材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室（壁、柱、梁の増打ち補強）		
判定基準	結果	検査方法	
設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表1、表2、表7、表8、図1.1~1.10、図2.10及び図2.11」参照）に記載された材料が使用されていること。	良	記録	
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			



検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：配筋検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室（壁、柱、梁の増打ち補強）		
	確認事項	確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
③	使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 配筋検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室（壁、柱、梁の増打ち補強）
判定基準	結果 検査方法
① 鉄筋、アンカー筋及びシアコネクタ筋の径（呼び径）、本数又は間隔が、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 1.1～図 1.10、図 2.10 及び図 2.11」参照）のとおり施工されていること。	良 記録
② アンカー筋及びシアコネクタ筋の埋め込み長さ並びにアンカー筋の定着長さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 1.1～図 1.7、図 1.9、図 2.10 及び図 2.11」参照）に示された値以上で施工されていること。	良 記録
③ 鉄筋の継手長さ及び定着長さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表 3、表 4、図 1.1～図 1.10、図 2.10 及び図 2.11」参照）に示された値以上で施工されていること。	良 記録
④ 鉄筋と型枠とのかぶり厚さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表 5、図 1.1～図 1.8 及び図 2.10」参照）に示された値以上で施工されていること。	良 記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。	

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：型枠検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室（壁、柱、梁の増打ち補強）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 型枠検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室（壁、柱、梁の増打ち補強）		
判定基準	結果	検査方法	
型枠の寸法が、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表6、図1.1～図1.8、図1.10及び図2.10」参照）のとおり施工されていること。	良	記録	
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 検査前確認事項

16  
 検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日  
 検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室（壁、柱、梁の増打ち補強）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 外観検査記録

16  
 検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室（壁、柱、梁の増打ち補強）			
判定基準			結果	検査方法
柱、梁、壁の増打ち補強部が、使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 1.1～図 1.8 及び図 1.10」に示す位置に施工されており、有害な傷、へこみ等がないこと。			良	立会
備考				
本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。				
・立会検査記録				
図番	場所	符号	結果	備考
図 1.4	F 通 14-15 通間	柱	1C2h, 2C2h, 1C3h, 2C3h	良
		梁	1G5h, 2G1h, 3G3h	良
		壁	EW200h, EW150h-1	良
図 1.5	K 通 13-14 通間	柱	1C3h, 2C3h, 1C1h	良
		梁	1G6h, 2G1h	良
		壁	EW150h-2	良
	K 通 14-15 通間	柱	1C1h, 2C1h	良
		梁	1G6h, 2G1h, 3G3h	良
		壁	EW150h-1, EW150h-2	良

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 燃料管理施設（壁、柱、梁の増打ち補強）		
	確認事項	確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p>			

## 材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 燃料管理施設（壁、柱、梁の増打ち補強）		
	判定基準	結果	検査方法
	設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表1、表2、表7、表8及び図2.1～図2.11」参照）に記載された材料が使用されていること。	良	記録
備考	本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。		



## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：配筋検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 燃料管理施設（壁、柱、梁の増打ち補強）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 配筋検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 燃料管理施設（壁、柱、梁の増打ち補強）	
判定基準	結果	検査方法
① 鉄筋、アンカー筋及びシアコネクタ筋の径（呼び径）、本数又は間隔が、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 2.1～2.11」参照）のとおり施工されていること。	良	記録
② アンカー筋及びシアコネクタ筋の埋め込み長さ並びにアンカー筋の定着長さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 2.1～図 2.7 及び図 2.9～図 2.11」参照）に示された値以上で施工されていること。	良	記録
③ 鉄筋の継手長さ及び定着長さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表 3、表 4、図 2.1～図 2.8 及び図 2.10」参照）に示された値以上で施工されていること。	良	記録
④ 鉄筋と型枠とのかぶり厚さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表 5、図 2.1～図 2.8 及び図 2.10」参照）に示された値以上で施工されていること。	良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。		

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：型枠検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 燃料管理施設（壁、柱、梁の増打ち補強）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 型枠検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 燃料管理施設（壁、柱、梁の増打ち補強）		
判定基準	結果	検査方法	
型枠の寸法が、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表6、図2.1～図2.8及び図2.10」参照）のとおり施工されていること。	良	記録	
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日  
 検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 燃料管理施設（壁、柱、梁の増打ち補強）		
	確認事項	確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p>			

## 外観検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 燃料管理施設（壁、柱、梁の増打ち補強）			
判定基準			結果	検査方法
柱、梁、壁の増打ち増設部が、使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 2.1～図 2.8」に示す位置に施工されており、有害な傷、へこみ等がないこと。			良	立会
備考				
本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。				
・立会検査記録				
図番	場所	符号	結果	備考
図 2.4	A 通 1-2 通間	柱	1C1Ah, 2C1Ah, 1C2h, 2C2h	良
		梁	1G2h, 2G2h, 3G2h	良
		壁	EW300h, EW200h	良
図 2.5	E 通 2-3 通間	柱	1C1Ah, 2C1Ah	良
		梁	1G2h, 2G2h, 3G2h	良
		壁	EW300h, EW200h	良
図 2.5	E 通 2-3 通間	柱	1C2Ah, 2C2Ah, 1C1Ch, 2C1Ch	良
		梁	1G2h, 2G2h, 3G2h	良
		壁	EW250h, EW200h	良

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室・燃料管理施設（連結補強）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考			
<p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p> <p>※検査は、鉄筋、アンカー筋、スパイラル筋及びねと施エアンカー(接着系・カプセル系)も実施した。</p>			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室・燃料管理施設（連結補強）		
	確認事項	確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p> <p>※検査は、コンクリート及び無収縮モルタルも実施した。</p>			



## 材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室・燃料管理施設（連結補強）		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表1、表2、表7、表8及び図3.1～図3.17」参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。 ※検査は、鉄筋アンカ-筋、スライル筋及び板と施工アンカ-（接着系：カ7セル系）も実施した。			

## 材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室・燃料管理施設（連結補強）		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表1、表2、表7、表8及び図3.1～図3.17」参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p> <p>※検査は、コンクリート及び無収縮モルタルも実施した。</p>			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：配筋検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室・燃料管理施設（連結補強）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 配筋検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室・燃料管理施設（連結補強）		
判定基準		結果	検査方法
① 鉄筋及びアンカー筋の径（呼び径）、本数又は間隔が、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 3.1～図 3.17」参照）のとおり施工されていること。		良	記録
② アンカー筋の埋め込み長さ及び定着長さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 3.1～図 3.17」参照）に示された値以上で施工されていること。		良	記録
③ スパイラル筋の径（呼び径）、外径及びピッチが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 3.1～図 3.17」参照）に示された値以上で施工されていること。		良	記録
④ 鉄筋の継手長さ及び定着長さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表 3、表 4 及び図 3.1～図 3.17」参照）に示された値以上で施工されていること。		良	記録
⑤ 鉄筋と型枠とのかぶり厚さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表 5 及び図 3.1～図 3.17」参照）に示された値以上で施工されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：型枠検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室・燃料管理施設（連結補強）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 型枠検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室・燃料管理施設（連結補強）		
判定基準	結果	検査方法	
型枠の寸法が、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表6及び図3.1～図3.17」参照）のとおり施工されていること。	良	記録	
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日  
 検査場所 J R R - 3 原子炉施設

## 検査項目：外観検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室・燃料管理施設（連結補強）		
	確認事項	確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p>			

## 外観検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室・燃料管理施設（連結補強）				
判定基準			結果	検査方法	
連結補強部の柱、梁、壁及び床スラブが、使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 3.1～図 3.17」に示す位置に施工されており、有害な傷、へこみ等がないこと。			良	立会／記録	
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。  ・立会検査記録					
図番	場所	床	符号	結果	備考
図 3.1	F-G 通間 15-3 通間	床	S500X, S300X	/	図 3.13 参照
	G-H 通間 15-3 通間	床	S500X, S300X		
	H-I 通間 15-3 通間	床	S500X, S300X		
	J-K 通間 15-3 通間	床	S500X, S300X		
	G 通 15-3 通間	壁	EW300X		図 3.15 参照
	G-H 通間 15-3 通間	壁	EW600X		図 3.17 参照
	H 通 15-3 通間	壁	EW300X		図 3.15 参照
	J 通 15-3 通間	壁	EW600X		図 3.16 参照
図 3.2	F-G 通間 15-3 通間	床	S500X	良	図 3.14 参照
	G-H 通間 15-3 通間	床	S500X	良	
	H-I 通間 15-3 通間	床	S500X	良	
	J-K 通間 15-3 通間	床	S500X	良	



## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	放射線廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（杭基礎の新設）		
	確 認 事 項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p>			

## 材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（杭基礎の新設）		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表1、表2、表7、表8、図4.2及び図4.13」参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：寸法検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（杭基礎の新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 寸法検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射線廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（杭基礎の新設）		
判定基準		結果	検査方法
杭の径（呼び径）及び杭の長さが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図 4.2 及び図 4.13」参照）に記載された寸法以上であること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

### 検査項目：配筋検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（杭基礎の新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 配筋検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射線廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（杭基礎の新設）		
判定基準		結果	検査方法
① 鉄筋の径（呼び径）、本数又は間隔が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図 4.2 及び図 4.13」参照）のとおり施工されていること。		良	記録
② 鉄筋の継手長さ及び定着長さが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表 3、表 4、図 4.2 及び図 4.13」参照）に示された値以上で施工されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日  
 検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（杭基礎の新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 外観検査記録

検査年月日 令和 7 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（杭基礎の新設）		
	判定基準	結果	検査方法
	① 杭が、使用前検査要領書の添付書類-2「図 4.2」に示す位置に配置されていること。	良	記録
	② 鋼管表面に有害な傷、へこみ等がないこと。	良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			



## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p> <p>※検査は、鉄筋を実施した。</p>			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設）		
	確 認 事 項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p> <p>※検査は、コンクリートも実施した。</p>			

## 材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設）		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表1、表2、表7、表8、図4.2、図4.3及び図4.14」参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。  <p style="margin-left: 40px;">※ 検査は、鉄筋も実施した。</p>			

## 材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設）		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表1、表2、表7、表8、図4.2、図4.3及び図4.14」参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。 ※検査は、コンクリートも実施した。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：配筋検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 配筋検査記録

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射線廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設）		
判定基準		結果	検査方法
① 鉄筋の径（呼び径）、本数又は間隔が、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 4.2、図 4.3 及び図 4.14」参照）のとおり施工されていること。		良	記録
② 鉄筋の継手長さ及び定着長さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表 3、表 4、図 4.2、図 4.3 及び図 4.14」参照）に示された値以上で施工されていること。また、フレア溶接を行った場合の継手部については、割れ等の有害な欠陥がないこと。		良	記録
③ 鉄筋と型枠とのかぶり厚さが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表 5、図 4.2、図 4.3 及び図 4.14」参照）に示された値以上で施工されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：型枠検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 型枠検査記録

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設）		
判定基準		結果	検査方法
型枠の寸法が、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表6、図4.2、図4.3及び図4.14」参照）のとおり施工されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			



## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設）		
確認事項	確認方法	結果	
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良	
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良	
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p>			

## 外観検査記録

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（基礎、基礎柱、基礎梁、床板の新設）		
判定基準		結果	検査方法
基礎、基礎柱、基礎梁及び床板が、使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 4.1、図 4.2、図 4.3 及び図 4.14」に示す位置に施工されており、コンクリート表面に有害な傷、へこみ等がないこと。		良	立会/記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。  ・立会検査記録			
対象部位	結果	備考	
基礎	良		
基礎柱	良		
基礎梁	良		
床板	良		
※立会範囲は地上露出部分とし、その他は記録確認範囲とする。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（支持鉄塔の新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。  ※検査は、鉄骨部材、アンカーボルト及びびねと施工アンカー（金属系）に実施した。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（支持鉄塔の新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。  ※検査は、無収縮モルタルも実施は、			

## 材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（支持鉄塔の新設）	結果	検査方法
判定基準		良	記録
設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表1、表2、表7、図4.4~図4.12、図4.15~図4.18及び図4.23」参照）に記載された材料が使用されていること。			
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。</p> <p>※検査は、鉄骨部材、アンカーボルト及び仮設施工アンカー（金属系）を実施した。</p>			

## 材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（支持鉄塔の新設）		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表1、表2、表7、図4.4～図4.12、図4.15～図4.18及び図4.23」参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。  ※検査は、無収縮モルタルを実施した。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

### 検査項目：寸法検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（支持鉄塔の新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 寸法検査記録

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射線廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（支持鉄塔の新設）		
判定基準		結果	検査方法
鉄骨部材の断面寸法及びアンカーボルトの径（呼び径）が、設 工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 4.4～図 4.12、図 4.15～図 4.18 及び図 4.23」参照）に記載された寸法で あること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			



## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（支持鉄塔の新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 外観検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（支持鉄塔の新設）		
	判定基準	結果	検査方法
①	鉄骨部材が、使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 4.4～図 4.12、図 4.15～図 4.18 及び図 4.23」に示す位置に施工されており、鉄骨部材の表面に有害な傷、へこみ等がないこと。	良	立会／記録
②	現場溶接部を目視にて割れ等の有害な欠陥がないこと。	良	立会／記録
②	アンカーボルトが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 4.4～図 4.12、図 4.15～図 4.18 及び図 4.23」参照）のとおり配置されていること。	良	記録
③	支持鉄塔が、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 4.4～図 4.12、図 4.15～図 4.18 及び図 4.23」参照）のとおり配置されていること。	良	立会
備考 立会確認箇所を添付図-1、本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

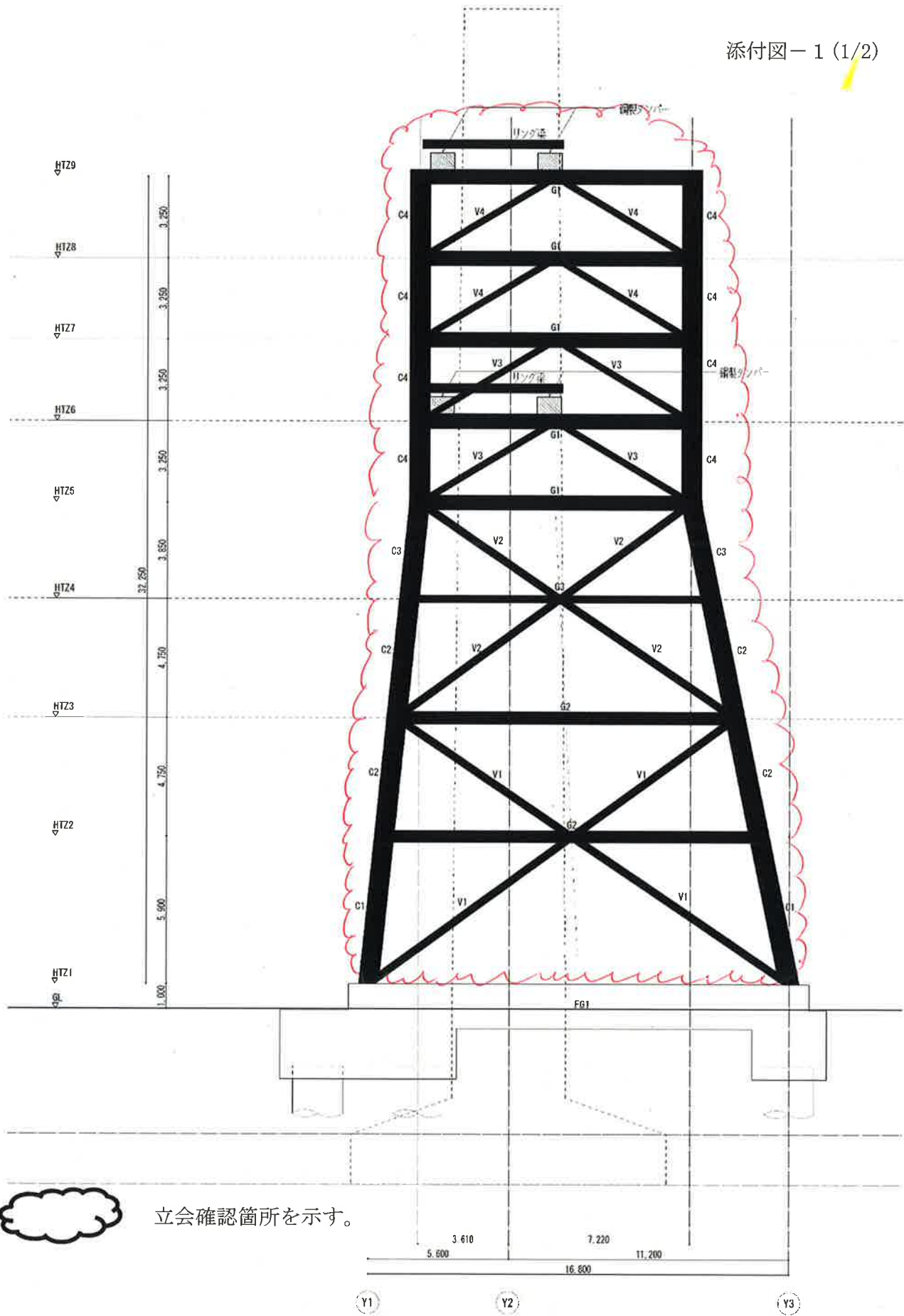
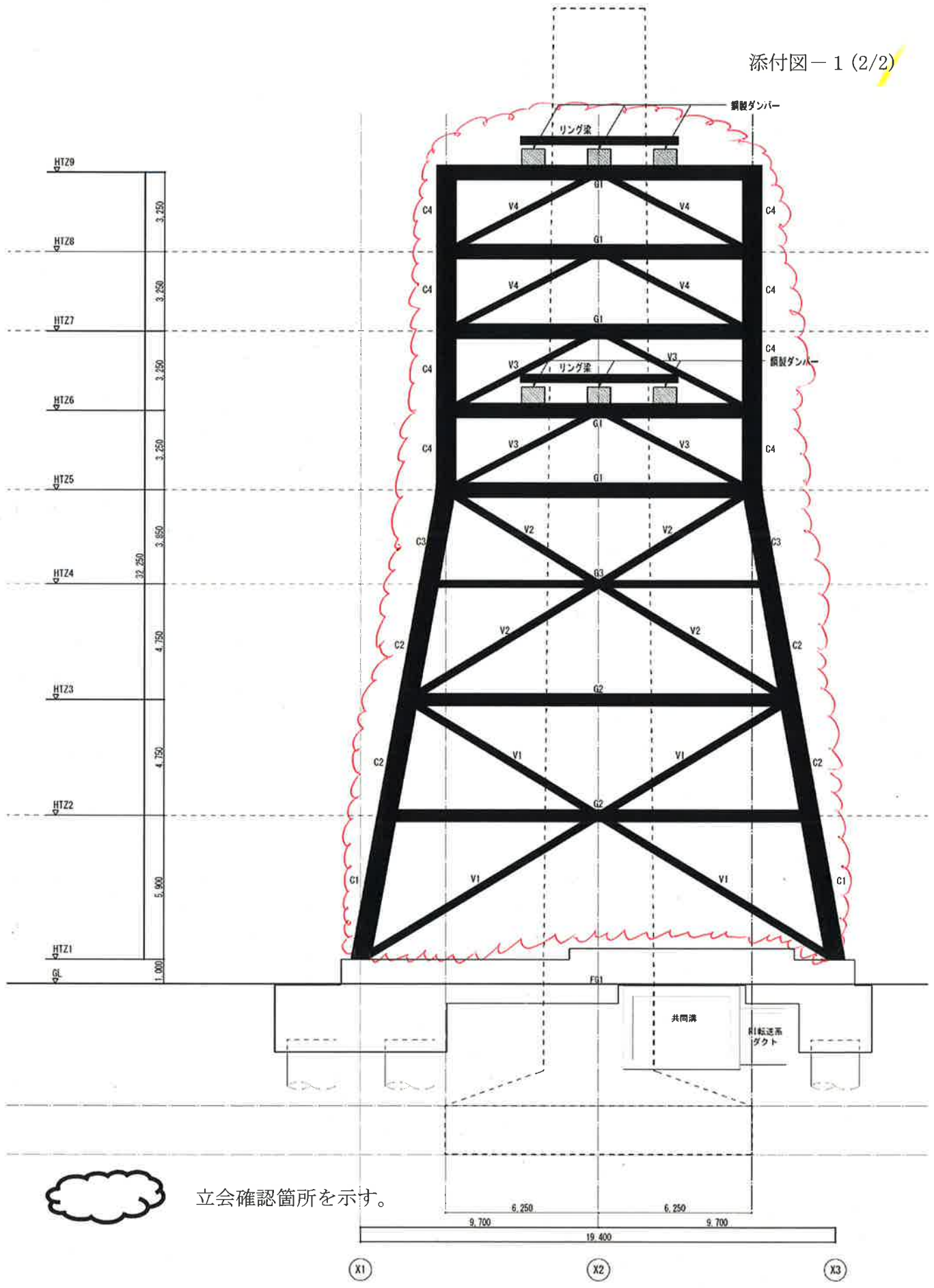


図1 排気筒 X1, X3 通軸組図  
(X1 通は反転となる。)



立会確認箇所を示す。

図2 排気筒 Y1 通軸組図

(単位 : mm)

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（鋼製ダンパーの新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射線廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（鋼製ダンパーの新設）		
判定基準		結果	検査方法
鋼製ダンパーに設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「表1、表2及び図4.19～図4.23」参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

### 検査項目：寸法検査

検査範囲	放射線廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（鋼製ダンパーの新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 寸法検査記録

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射線廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（鋼製ダンパーの新設）		
判定基準		結果	検査方法
鋼製ダンパーが、設工認申請書（使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 4.21 及び図 4.22」参照）に示す大臣認定品として定められた所定の形状であること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			



## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	放射線廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（鋼製ダンパーの新設）		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 外観検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒（鋼製ダンパーの新設）		
判定基準		結果	検査方法
① 鋼製ダンパーが、使用前検査実施要領書の添付資料-2「図 4.19～図 4.23」に示す位置に施工されており、鋼製ダンパーの表面に有害な傷、へこみ等がないこと。		良	立会
② 鋼製ダンパーの据付状態に異常ないこと。		良	立会
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室 燃料管理施設 放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒		
	確 認 事 項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備 考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日 令和2年12月17日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室 燃料管理施設 放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒	
判定基準	結果	検査方法
設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。 ・試験研究用等原子炉施設の地盤（第6条） ・地震による損傷の防止（第7条第1項）	良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。		

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室 燃料管理施設 放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒		
	確認事項	確認方法	結果
	法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。			

## 検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室 燃料管理施設 放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒	
確認事項	確認方法	結果
法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。		

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室 燃料管理施設 放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒	
確認事項	確認方法	結果
法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-58に示す。		

## 品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室 燃料管理施設 放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		継続
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。 工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 2 保安活動の計画 ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。 3 保安活動の実施 ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。工事中で	



	<p>あるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。</p>
	<p>4 保安活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。</li> </ul>
	<p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。</li> </ul>
<p>備考</p>	<p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙－58に示す。</p>

## 品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室 燃料管理施設 放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		継続
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。 工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 2 保安活動の計画 ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。 3 保安活動の実施 ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。工事中で	

	<p>あるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。</p>
	<p>4 保安活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事及び検査が 2 の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。</li> </ul>
	<p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。</li> </ul>
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙－ 5 8 に示す。</p>	

## 品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 使用済燃料貯槽室 燃料管理施設 放射性廃棄物の廃棄施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 排気筒	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		良
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。	
	2 保安活動の計画 ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や可否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。	
	3 保安活動の実施 ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。	

	<p>4 保安活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事及び検査が 2 の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。</li> </ul>
	<p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。</li> </ul>
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙ー 5 8 に示す。</p>	

## 記録一覧表

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
	放射性廃棄物の廃棄施設 (排気筒(杭基礎の新設))		
1	・原子力科学研究所品質保証計画書	QS-P10 H30. 7. 18	(品)
2	・原子力科学研究所品質目標管理要領	(科) QAM-540 H31. 3. 29	(品)
3	・原子力科学研究所調達管理要領	(科) QAM-740 R1. 8. 5	(品)
4	・原子炉施設等安全審査委員会規則	(科) QAM-550 H31. 4. 1	(品)
5	・研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研) QAM-620 H31. 3. 15	(品)
6	・研究炉加速器技術部試験・検査の管理要領	(科研) QAM-820 H30. 4. 1	(品)
7	・研究炉加速器技術部文書及び記録の管理要領	(科研) QAM-420 R1. 9. 2	(品)
8	・研究炉加速器技術部部内安全審査会運営要領	(科研) QAM-550 R1. 9. 9	(品)
9	・研究炉加速器技術部業務の計画及び実施に関する要領	(科研) QAM-710 R1. 12. 4	(品)
10	・研究炉加速器技術部設計・開発管理要領	(科研) QAM-730 R1. 9. 2	(品)
11	・研究炉加速器技術部使用前検査対応要領	(科研) QAM-820-004 H30. 4. 1	(品)
12	・研究炉加速技術部監視機器及び測定機器の管理要領	(科研) QAM-760 H30. 9. 14	(品)
13	・設計管理計画(排気筒の耐震改修)		(品)
14	・設計要求事項の適切性の評価記録(排気筒の耐震改修)		(品)
15	・設計要求と設計結果の対比の記録(排気筒の耐震改修)		(品)
16	・設計の検証の記録(排気筒の耐震改修)		(品)
17	・JRR-3 排気筒の耐震改修 事業者検査要領書	(科研 3) QAM-820-010 R1. 12. 18	(材) (寸) (配) (外)
18	・JRR-3 排気筒の耐震改修 事業者検査記録		(材) (寸) (配) (外)
19	・監視機器及び測定機器 管理台帳		(寸) (配)

20	・力量評価票		(材) (寸) (配) (外)
21	・耐震改修に係る設計変更の生じた構築物 に対する適合性確認 事業者検査要領書	(科研 3) QAM-820-017 R1. 6. 13	(適)
22	・耐震改修に係る設計変更の生じた構築物 に対する適合性確認 事業者検査記録		(適)

\* 備考欄の記載について

(材) : 材料検査、(寸) : 寸法検査、(配) : 配筋検査、(型) : 型枠検査、(外) : 外観検査、(適) : 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品) : 品質管理の方法等に関する検査

## 記 録 一 覧 表

検査年月日 令和 2 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原 子 炉 施 設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備 考*
	放射性廃棄物の廃棄施設 (排気筒(基礎、基礎梁、基礎柱及び床板の新設))		
1	・原子力科学研究所品質保証計画書	QS-P10 H30. 7. 18	(品)
2	・原子力科学研究所品質目標管理要領	(科)QAM-540 H31. 3. 29	(品)
3	・原子力科学研究所調達管理要領	(科)QAM-740 R1. 8. 5	(品)
4	・原子炉施設等安全審査委員会規則	(科)QAM-550 H31. 4. 1	(品)
5	・研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研)QAM-620 31. 3. 15	(品)
6	・研究炉加速器技術部試験・検査の管理要領	(科研)QAM-820 H30. 4. 1	(品)
7	・研究炉加速器技術部文書及び記録の管理要領	(科研)QAM-420 R1. 9. 2	(品)
8	・研究炉加速器技術部部内安全審査会運営要領	(科研)QAM-550 R1. 9. 9	(品)
9	・研究炉加速器技術部業務の計画及び実施に関する要領	(科研)QAM-710 1. 12. 4	(品)
10	・研究炉加速器技術部設計・開発管理要領	(科研)QAM-730 R1. 9. 2	(品)
11	・設計管理計画(排気筒の耐震改修)		(品)
12	・設計要求事項の適切性の評価記録 (排気筒の耐震改修)		(品)
13	・設計要求と設計結果の対比の記録 (排気筒の耐震改修)		(品)
14	・設計の検証の記録(排気筒の耐震改修)		(品)
15	・設計の変更の記録(排気筒の耐震改修)		(品)
16	・研究炉加速器技術部使用前検査対応要領	(科研)QAM-820-004 H30. 4. 1	(品)
17	・研究炉加速技術部監視機器及び測定機器の管理要領	(科研)QAM-760 30. 9. 14	(品)
18	・JRR-3 排気筒の耐震改修 事業者検査要領書	(科研)QAM-820-010 R2. 3. 18	(材)(寸) (配)(外)
19	・JRR-3 排気筒の耐震改修 事業者検査記録		(材)(寸) (配)(外)
20	・監視機器及び測定機器 管理台帳		(配)(寸)
21	・力量評価票		(材)(寸) (配)(外)



\*備考欄の記載について

(材) : 材料検査、(寸) : 寸法検査、(配) : 配筋検査、(型) : 型枠検査、(外) : 外観検査、(適) : 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品) : 品質管理の方法等に関する検査

## 記 録 一 覧 表

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備 考*
	放射性廃棄物の廃棄施設 (排気筒(基礎、基礎梁、基礎柱及び床板の新設、 支持鉄塔の新設及び鋼製ダンパーの新設)) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯槽室・燃料管理施設(連結補強))		
1	・ JRR-3 排気筒の耐震改修 事業者検査要領書	(科研 3) QAM-820-010 R2. 3. 18	(材) (寸)
2	・ JRR-3 排気筒の耐震改修 事業者検査記録		(材) (寸)
3	・ 連結補強部の耐震改修 事業者検査要領書	(科研 3) QAM-820-018 R2. 8. 5	(材)
4	・ 連結補強部の耐震改修 事業者検査記録		(材)
5	・ JRR-3 管理課 保安活動に従事する者の力量管 理		(材) (寸)

\*備考欄の記載について

(材) : 材料検査、(寸) : 寸法検査、(配) : 配筋検査、(型) : 型枠検査、(外) : 外観検査、(適) : 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品) : 品質管理の方法等に関する検査

## 記録一覧表

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
1	放射性廃棄物の廃棄施設 (排気筒(支持鉄塔の新設及び鋼製ダンパーの新設)) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯槽室(壁、柱、梁の増し打ち補強)、燃料管理施設(壁、柱、梁の増し打ち補強)、使用済燃料貯槽室・燃料管理施設の連結補強)	QS-P10 R2.12.1	(品)
2	・原子力科学研究所原子炉施設及び核燃料物質使用施設等品質マネジメント計画書	(科)QAM-540 R2.4.1	(品)
3	・原子力科学研究所調達管理要領	(科)QAM-740 R2.4.1	(品)
4	・原子炉施設等安全審査委員会規則	(科)QAM-550 R2.4.1	(品)
5	・研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研)QAM-620 R2.4.1	(品)
6	・研究炉加速器技術部試験・検査の管理要領	(科研)QAM-820 R2.9.24	(品)
7	・研究炉加速器技術部文書及び記録の管理要領	(科研)QAM-420 R2.7.1	(品)
8	・研究炉加速器技術部部内安全審査会運営要領	(科研)QAM-710-016	(品)
9	・研究炉加速器技術部業務の計画及び実施に関する要領	R2.4.1 (科研)QAM-710 R2.8.17	(品)
10	・研究炉加速器技術部設計・開発管理要領 ・設計管理計画 ・設計要求事項の適切性の評価記録 ・設計要求と設計結果の対比の記録 ・設計の検証の記録 ・設計の変更の記録	(科研)QAM-730 R2.4.1	(品) (品) (品) (品) (品)
11	・研究炉加速器技術部使用前検査対応要領	(科研)QAM-820-004 R2.8.17	(品)
12	・研究炉加速技術部監視機器及び測定機器の管理要領	(科研)QAM-760 R2.4.1	(品)
13	・JRR-3 原子炉施設の変更に係る設計及び工事の方法の認可申請書(その3)		

14	・JRR-3 排気筒の耐震改修 事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-010 R2.3.18	(材)(外)
15	・JRR-3 排気筒の耐震改修 事業者検査記録		(材)(外)
16	・使用済燃料貯槽室の耐震改修 事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-008 R2.3.18	(材)(外)
17	・使用済燃料貯槽室の耐震改修 事業者検査記録		
18	・燃料管理施設の耐震改修 事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-009 R2.7.7	(材)(配) (型)(外)
19	・燃料管理施設の耐震改修 事業者検査記録		(材)(配) (型)(外)
20	・使用済燃料貯槽室及び燃料管理施設の耐震改修(壁、床スラブの新設による建家の連結補強) 事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-018 R2.8.5	(材)(配) (型)(外)
21	・使用済燃料貯槽室及び燃料管理施設の耐震改修(壁、床スラブの新設による建家の連結補強) 事業者検査記録		(型)(外) (材)(配) (型)(外)
22	・JRR-3 管理課 保安活動に従事する者の力量管理		(材)(配) (型)(外)
23	・監視機器及び測定機器 管理台帳		(配)(型)
24	・耐震改修に係る設計変更の生じた構築物に対する適合性確認 事業者検査要領書 ・耐震改修に係る設計変更の生じた構築物に対する適合性確認記録	(科研3)QAM-820-017 R2.3.18	(適)  (適)

\*備考欄の記載について

(材) : 材料検査、(寸) : 寸法検査、(配) : 配筋検査、(型) : 型枠検査、(外) : 外観検査、(適) : 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品) : 品質管理の方法等に関する検査